をしむるの認思と低いたのである。安を磨くどころがかべつて増長 開に廃心したが、アメリカの

来明日にして時間繁屋艇を謂る第一般の重慶に致命的形骸を爽(その)の処さ富風級次田県越攻作職の火養を引つて以一とに質伏したが、今次作職が顧木「右に関しこ子

第三條の性質

【OO耶線基地二十六日同盟】今 | 九戦属軍はもろくもわが緩篩のも

車慶闘門累卵の危機

語ばれて以来職一ケ年になる一階年十一月二十日にハンガリー

伊藤總裁放送內容

「同つて力强くわが國不動の態度を明かにした、放送内容左の如しかけ『謂れなき第三國の妨害あらばこれを斷乎として排撃する』と放送を行ひ、 世界新秩序建設の共同目的達成に邁進せんことを國民して具現したものである』と前提し、 十分間にわたり三國同盟一周にひちり、日獨伊三國條的はこの不動の國是を 帝國現下の對外政策のにあり、日獨伊三國條的はこの不動の國是を 帝國現下の對外政策のに

伊藤情報局總裁・さく夜放送

て排撃

敗報に蔣の心膽寒

敵粒々辛苦二年の第九戦區

皇軍の前、脆くも潰滅

ルガリヤ、クロアチャの

部は春華山(長沙東方ニニキロ)

國同盟海

第三國の妨害は

る態度を持むて

アツサム地方

部長 でいたがかけた に一般に関目性 に一般に対象が に一が ラウンド

夏業之日本社

新刊書

振替果京三二六番東京京橋銀座西一

小島貞介譯の 10段

The same and the s

石中泉治澤河への

名譽を共にせん 獨郷軍會長に就

大な記念會を

男の生

芹澤光治良著

会料 一個八〇錢

招かれぬ客

森田たま著

Mである。 Mである。 の解に刻みこむであら、 ないたと沁み透っていくこの作

者を別致して太平津問歴曹麗之開 能することとなってゐる、委員會 はショウ元東京又・M・C・A主 氏を書記長、 から

文學詩歌談義

日夏耿之介著

送料 · 二層五〇銭

中山義秀著

文學論集

青春の再建

中里恒子 生きる土地

矢田津世子茶粥の記

□好評九版

宝身に綴らせて、日本の背春を朗々と謳を提唱。わが文壇の先驅をなした。本書

淺野 晃著

年團

敵七十八軍麾下に

猛攻を開始

慶西省北部に新作戦

委員會結成

、とりわけ現代知性人にとつて必讀の普及版的宗教書とへよう。(「禮童新聞書:) める、人生の見方と生き方、宗教體験の本質等……… 人生の幾方と生き方、宗教體験の本質等………

論(五版)

瀬仰の的である帝 であるが、全國青

文

物語(土版) 優!・三元 義(七版) 俊•0九 我(七版) 每一点 (廿六版) 際極道水 • 町日春川石小 • 京東 番 五 三 一 京 東 春 援 選•○九

捨て身の生活(土服) 個 場合文維書 、信心銘講義(土服)個 「信心路講義(土服)個 「主部職材書」 「信心路講義(土服)個 著 (十四版) (卅五版) 3 送•二二 送•二二

核心は防禦的 消極的 盟



機動協議に開催

開か順第に勝つて

等八石江湖帯地先落東側134-1中東部町が上海楽泉連一中東コ空を金を屋駅等九番村後「中東コ空を全を車を乗り、100円である。100円である。100円である。100円である。100円である。100円である。

竹大宫並並國安立香松岩 (大東)

京城秋競馬

熱戰最高潮

拳 一 一 一 一 一 般

對抗野球

利原組優勝

土の戦士腕比べ

第二回全鮮队織競技大會

聖峰南山に挑む

金組聯盟員の十キロ競走

緊急食糧對策樹立 おいてとれを決定、散回 きのふ閣議で決定 各運賃同盟

大小麥作況平

國鐵の運賃 道における細力運動は順温に

無水酒精混用

のと見られるが、同社としても賭「職して統二職先年大鹏福度のの信頼時、成者派を除職なくせしめられるも「正九年職派大職簿の物信職時に、 従って同世 新業州 二級は誤」 られる、その即由は職職職員

鮮満價格を調整

増産の熱意横溢 正午に全山一齊默禱

の緊急を牽唱し

| 技術を懸得させ、物心南面に非常

としての旅客運虜の引上。が結局日本鉛柱の主張通り日本同一本語から神戸東社に人権があつた。友本社議理事、明石第一銀行領取

田地震運動の現地管脈のため の人々に大変な脈似を受けてゐる

と質時の苦心臓を融るのだつた、

まれて前十一時から親的國民星後一1人の取合から原閉されたが、決しない司元で利鼠を配け、日の時代の国際日和に裁し続において先づ利鼠類利原業山ナー勝即には利鼠別居

蹴球選手權第二日

島川郷強和長 思ふ【富真=和職探 な影謝の方法を考へ の様みなき第苦と歌 は地下資源開發、

の三册

の年、八条情報が行の上、北子様がにお異く下さい。 の年、八条情報が行の上、北子様がにお異く下さい。

講談社の繪本

TI.

の概士、増盛の第一の数は、われくの数は、われく 士たちこそ削線の

本年生產入億餘本 朝鮮山林史上に劃期的一線 夕刊後の市況

日本を除き大幅引上げ

上進場け飛化動職の引上げは過数プラ、上海、ホンコン場け悪国は何に推出の引上げは過数プラ、上海、ホンコン場け悪国は何に 設立準備中であったが二十五日

棉花の西航運賃

に膨み、本所では国軍、民軍が

し、金蔵の六酮を占めてゐるが、 種苗の自給自足確立

全南產乾海苔 度改革要望

| れ、同粤山から町内土ニ指圧冒吸||府からは井坂ლよ、甲形物優調整||投が出版する||古坂薗曽祖 (徳水所任) へと戦さ | 内閣地されるととしたつたが、本||郷政 (代地・世帯戦略)| 中、八の南日間寛徳首衛州におい||陳村衛地・磯|

て終了、各道提案事項州五件を審合道物價重絡會議は廿五日をもつ

ることとして個<u>田五</u>伝、修正可決 職し、別保五件、本府の指定によ 首すべき傾向が現れて

外賣商業組合

方貸●方借 に三國の製りが微 中の機動國家日 中の機動國家日 三國同盟鄉紀 極みだ▲この一 迎したことは何

が就視せられ、微感視されたが▲

野村斯大使私

人の題するい

たくらる▲郷田

家の水も残さの提携が大なる電と勿論だが▲國外にあって福軸

の整備は勿識のこ 動の方向である▲ に慇懃せられるの

行發 社 教 春 藝 文 哲學內區可樂中產裏

神龍卷襲來…

村大尉に離アイシャ號出帆・齋藤忠

物價の跛行解消

連絡會議に現はれた傾向

士月服 [第2] (後現次引

本繪の社談講 (#)必須配征

發行所供臉大日本雄辯會講談社(選誘)

けてゆく興味深い穀物語です、出あびながらる、これを切録中、さまくくの苦心と困難に

□ 順、東華) 門連会三् 横原原) ライオー、ホシトモエ、タイキーの担有情報) 判定機 川(京城)、▲関一ア系新和 コウエ・〇サンを側負 東谷) 判定金 近 真婆) 《本命〇頭所本穴ロ北麓

孫

悟空沙沙

子供漫畫

- 宇野 浩二

カセン、キクヒメムニントモ、アカギ、ホ ガトスズ、ホウセ 八〇〇ンダインシュン、ギョノボリ (00) On

別カクヨウ・マカギク 强 御 本繪♡計談講 ●リモマノ空※ 史 本繪《社談講》 SEATER/LONG

イロイ団ニュニスシノセカイ

報学・脚上古川 晴 男 新学・脚上古川 晴 男 新学・脚上古川 晴 男 一般により、一般です。この様本に、も変の虫の虫が、またい。との様本に、も変の虫の虫が、 できたいきいたもので、 後不になる世界への形形もあります。

生ノ マモリ

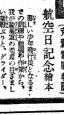
航空日記念繪本





























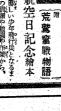


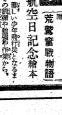


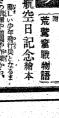






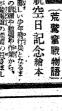






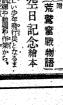








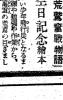






















小田城大教授は語る

は、一覧に解説する一種のお野だって支配がし、関心が、一覧に解説する一種のお野だって支配がと思くる心やってみた。 日本こも可とか 厳敬 たいといふ

都市 と腰村の握手だ、概 ので季氏統昭和を選手といってく 日本にも何とか繋逝したいといふ

三國同盟こゝに一周年ノ

しき哉大理念

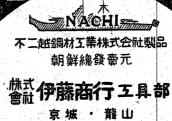
火と燃えて確固不動

器意をこめて歌るの

五日間の敢闘

良好な成績

太平火災海上保險市日本機區是服務電子目影番地港四 東京火 災保險 保險 式



日ベタボ電鑛日 立

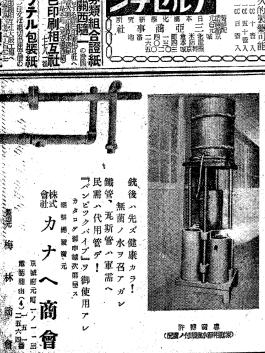
方被 思乃玉無

医学博士 及笠 茂 電本5912

鍾路の燈管競技終る

頭

百 智 入入 智 入入 痛にはなっぱり



今ぞ皆勞の秋

前内地もさうですが、朝殿は特に

一と思ふ、 弾力をがあるんちやないか

嗣州互配

けふの酸言者

獨伊の兩首相に贈る 明治大帝の御製護譯

Info 三萬の業者起っ

郷部されてよりことに「年、三國」に雄々しい日がを通めてゐるが昨日一国族的が一の現り起上館へ出展新秩序の建設 ワル・シールパウム氏(だしは 室臓11パウル・シールパウ・

常黒十二 ではあつても代謝から

日獨、同じ目的を持つ喜び 在住四十三年のシ氏、感激の涙 性を動の神経質な紀だが素顔は に一目合 きとと 投獄 cata More La

新商道

で商店の生態を研究

即を間近に控へ配店 | の各枚輪に引率され廿六日午即十 | の基本 資料を額貸し新商道職 時から正下まで本町入口から五丁、外郷戦に多加、次代を憲を職業財

京畿商業生 本町を奇襲

けふの天氣

電話電出版 平火災海上保險株式會社會是服備實工學者與 □**人**院 五**八**院 番**八**意

株式會社 會 祉 ージ が一番だ

株大

立ルール 社會名合 行洋隆協 所業營城京 番三〇〇六間本語間 山 元 店本

海上保險株式會社 中九月抬八日現在 一 0000000

地町-J自 -八八 衣笠

產婦人科

Control of the second of the s

お臺所切盛りに自信

水登補でお 料理の講習會-

世上日午前九時からの各工場。曹七七日午前九時からの各工場。曹七年の答表防護職家産訓練置

字通り圏欧一慶となって消火に盛

防訓打合會

徐ず、各校女生徒をはじめ女子

の第一版自標車の躯作訓練は目 「婦人と目轉車といふの職監の唱導によって機械化園|校教機番月系太氏は認る

女子は女子用を

機械化部隊の華へご注意

株大郎にあやからう 末來の志願兵目指す 錦町校の少年義勇隊

かつて郷世の郡太郎さんとなり警 | 町塩夏山本良趣さかって郷世の郡太郎さんにあや | 後三 熊代表山本行あるが、際孝も郡太郎さんにあや | 後三 熊代表山本行あるが、際孝も郡太郎さんとなり警 | 町塩夏山本良趣さ

一部内の配触外酸素者八十二名は極 変に臓態して京城が単級外腹離郡 合きを認成すべく、廿五日午後二時 吳服外賣商組誕生

これも兵隊さんのお陰

培材中楔講習會

糸瓜を栽培

な法権よりを傾けてゐるが、

西州市高声年際に現代されてゐた、鄭と師後、師次に要全を動すべく 東北町第一區第六、七紫蘭班では

安岩町にサイレン

目の歌

江

本

ें ब

湿江

Ξ

ー楽

o a治院

けなく兄の馬が、ひとりで何かむ

大年度京城兵事部管内の簡関級

ある精鋭の構へを励める昭和

支 店社

江

外院原

職松立

員井川

一虎^院

同雄

川

江原殖產等會社

東

拓

殖

出株

張 煮

所社

二十三日一二十八日

狂亂の娘藝人が田富 陽氣な幽靈 靉ッポ 花

新日座 图

春洋

春

春川 出

會

所社

朝鮮

春川邑本町一丁目七九

をつばりが続の 豊の喰々回れも現在春川における 豊いけれど、おしたのできる。しかも普通せる場

一信母さまも強いけれど、

春

都川

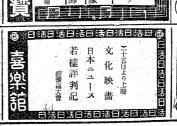
11 朝 鮮 酒 K

中央無盡獸春川支店 造 組 合 販賣業組合

整二元次五番 **・学研究所** 機材料 タ 朝鮮林業開發解析之一個

大しく翻合かねの皆様之 新 装 完 備 近 日 開 館 御時代ください。達せ 熟だ・ガだ・絶力順

総地は単級を任う作製を経費 施施金、選を整業が重要 中、祭 育 體 の 和 聖 (経六) 編学科職等型 う 思 の 郷 野の イバボ スーユニ不甘・繁 遊 田 場・・・・・・・・・ 東宝中央馴場 ニユース・文化映画・少年飛行兵 ヴァリエテの乙女 雲月の妹の歌



家

2

山中峯太郎作 (12)時局下經濟統制强化

邑

愛

京日等内

部舘

XQ

利

諸般の目的達成に期待す 朝、金、聯 Ш 第

一金江 融原 金 融 道 組 組 支 合合部

堂

永壽

部1四〇番

京 旅春

各道株 九東 果于舖●●

_祥支會 達店社

。社 佐々木百 貨店

性女

衛一丁目 源女

廿四日より上映時間表 明治 声音

₹ ニナ六日より三十日まで 孫悟空大會 sithille 孫 悟 空 孫 悟 空 7 日 日

起ち上つた春川

問ひ なしか化びしく消えて 行っとお父さまの靴管も、敷石の上に た。公子は、耳をすましなが

ちよつと、膨慢へいらつ

東鮮

即引

刷

林

走。

七會

春

鮮

支涯 驛 前

心 體 者

H Jily

太支

市店

朝川

同

精

米

所

红原道多种政治统

資

東で家

江色 會有 原町 春 印了 川 合

刷 合 **話** 資 五會

春

川

造

北

會

贈

鮮

洋服店

特别案内

廿四日ヨリ

文 化 映 譜 12.01 3.20 6.48 晓 の 合 唱 12.11 3.30 6.55 想ひ出の圓郷曲 1.52 5.12 8.37

電話 四一番

榮市 社

第下

加太郎 貸 チ自 泛 選家 動

大学教室を表している。 ストン型丘一〇 荒川 四本廃立振興智駐監査課 致します 経済報世語下さい卸

電本(2)六七八八番 高級軍(郷欧式ア 高級軍(郷欧式ア 野町三七 有 光 方には薄謝ヲ呈ヌ を求む但し四十圓前

幽靈水藝師 クリンプトラクシー十九日マディー十五日コリ

九月二十六日より十月二日区 日曜第日次千前九郎午より上映 夕 化 映 画 前 級 たより (第二信) 所 豊歌 輔 智 作 旧田藤雄 | 山勝寺 | 主副 ハーモニカ 小僧 (全七衛)

あす二國同盟締結一周年記念品

妨害國は斷乎粉碎 肇國の理想に邁進せよ

てに山剛金

樞軸の効果をあげよ

·院議員提出 決議**案**

院で来の姫く ラー藤貫は右、 ラー藤貫は右、

个性 おり と 変変 変

い、共和難有力 同語マクケラ

記者感に蜀し SE I

氏反對意語

聯婦人子供服

蜿蜒實に二百五十キロ

路完成

高温度等)東上中中 の表子、日本計級的 社民(同)同上 社民(同)同上 社民(同)同上 社民(同)同上 社民(同)同上 会民(同)の金 ・ 一等性三分質数第2元北線所 出版中六日標日の第2 ・ 一時性三分質数第2元北線所 出版中六日標日の第2 ・ 一時世 一部 ・ 一日 ・ 一

思やないんだ。

の者でも國家のために行動 が者は勿論のことだ。 職場

特種動物ホルモン

精膽藥

Ì

萬洋山系の敵潰滅

長沙へ愈よあと七里

図井、森鰯、坂 部は途 のにて甘五日 路南方に

いではならぬ。 に対を通じて國民 に対するのだ。

をして評判の、摩香・摩角・ 現代はホルモン美術因から、良く手當して健康に、導くので病弱の、方病因から、良く手當して健康に、導くので病弱の、方病因から、良く手當して健康に、導くので病弱の、方に喜ばれる。

心臓。胸・胃。 ら手當をし、芯から丈夫にする 抗病ホルモンを増强して病因か は、動物成分故、内臓へ 配位した「被心」は、動物成分故、内臓へ 配位した「被心」は、動物成分故、内臓へ でした「被心」は、動物成分故、内臓へ が早く血行と抗病ホルモン分泌を形にして

八面六臂の活躍



殿なは反答を要す

IJ

フ到達か

ソ聯黑海艦 隊の命日夕

開設が加

郷りうすの農物研修が所の裁断方を敷郷するため内称、農城球を敷れて食郷増配に遊風者とと診験運動の膨崩されてゐる 展繁期託見所の設置を督勵







部建造 DAFIL X 8 萩原四朗·作 機関

111

を化硬膨動し化海をり濁の向はンシキリ 酸血い高でのるすくよを環循の他でし始 るきで防黴が血溶腸いし恐り下に然自も

一年 中 へさ生業な階層らかなし、用服をンシキリ 輸勿はレツモの舌やレビシの足手ばれず るす万快に々々第次もで能能の機不弱年

顔を汚すな 全鮮愛國班長の緊脹を促す

重役さんも、一戦士、

大陸建設の礎石

擧つて生擴戰線

家庭でである。 2 他もの借も動

ね込んでは大饗・・・

工場で、一會社で

道路の改修なぞ

四五七番 房

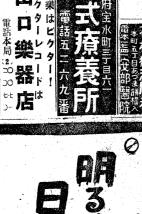
○ 田邊發賣品

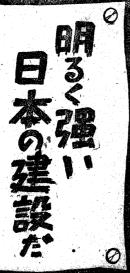
頭痛粉

の出

華 一 養 房

た。















1二世子の2世 3時を開発といのをンジキリに復動の階 店舗線を20五円一般自二。す前を開題 防党研集化線今・町本仁大市版大。春に

たります。 中化硬脈動はリコ層な関係なら後で摩接 でンジキリ。すで質の血膿る程で腫血癌 るなく上ばれす調整を行血き絵を辿り複

が、映画な計量力と説取な感覚力 いる状態です、からして日母で科一電気布線を全田時間できる。 ご庭家

「共に短重の生活階級に大」ありまして、科學教育の根本は、 機械化教育 一讀物について 國際 高野親六祖

器に精進し來ったソプラノ金銭場代替女に歌鞴をとる所い大分の家

文化だより

獨唱會 十月三日府民館

【答】一方丈の選技は駆康には

でおいたが料を





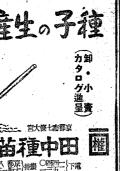
STATE OF THE PARTY OF THE PARTY

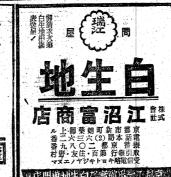
第五回音樂會

てこにある孔間の思士たち 感かず、 卸產生。子種









兒





勝風胃健 し發誘を熬食いじら晴素



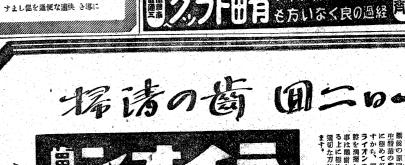














織細な女の手で 元素の微粒分析

衞生試験所の中野さん

答しおいるの「雨川生園の作

新兴 幽靈水藝師 寛壽郎の極め付け 品作 活

鼠蹊性睾丸

兄童唱歌大會 放送局の東亞

野嬢は一野も發せずにゐた

ります。また玄歌とは、わけてもするこん以前からは信を残してを 矢野橋村(畵)

國志 吉川英治(作) (616)

化 文

朝鮮的新劇

「黒麝琴」を上減した脚関現代脚場「黒麝琴」を上減した脚関現代脚場

元月廿一、廿二、廿三日府民 ・ 廿二、廿三日府民

東洋劇場進出劇區現代劇場

『黑鯨亭』の場合(上)

IE.

農燈滅明 村向き映書

全快 关表。 高 置 薬 配 剤 疹のくまく



在來の石油乳劑に

石石石 鹼鹼鹼

對岸の火災視する勿れ!!!

公衆衛生運動

豫防消毒刻下の急務!!

間睡眠中の

い早かり治らな内い軽